

# 日本線維筋痛症学会 第4回学術集会を終えて

日本線維筋痛症学会 第4回学術集会  
会長

植田 弘師

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科分子薬理学 教授





日本線維筋痛症学会 第4回学術集会  
 「臨床から創薬へ」は平成24年9月15日、16日の2日間長崎ブリックホールで開催された。  
 台風接近にも関わらず、正規の学会員200名に対し総勢342名の学術集会参加者を数え、非常に活発な討議が行われた。本学術集会では医師、企業研究者、看護・理学療法・薬剤師などのコメディカルの3者がほぼ同数出席し、キャッチフレーズどおりの活発な集会となった。

# 日本線維筋痛症学会 第4回学術集会 臨床から創薬へ

2012年  
 9月15日(土)～16日(日)

会長 植田弘師

(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科  
 分子薬理学研究室)

会場 長崎ブリックホール



主催 学術集会事務局  
 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科分子薬理学分野内  
 〒852-8521 長崎市文政町1-14  
 TEL・095-819-2421 FAX・095-819-2420  
 E-mail・hokuno@inagasaki-u.ac.jp

協賛 株式会社コンベンションリンケージ内  
 〒812-0016 福岡市博多区博多駅前1-3-6 第三博多ビル11F  
 TEL・092-437-4188 FAX・092-437-4182  
 E-mail・kjc@cc-linkage.co.jp

申込登録期間: 2012年4月2日(月)～6月6日(水) 予定 HP: <http://www.c-linkage.co.jp/4jcf/>



開会のご挨拶をされる植田会長

第4回学術集会ではより多くの医療関係者が線維筋痛症の診断、治療、そして最先端基礎研究における分子機構について理解できるようなプログラムが企画された。

具体的には、整形外科、リウマチ科、精神科、心療内科分野における教育講演、教育セミナーやシンポジウムを通じて、鑑別診断についての正しい理解を深め、小児における若年性線維筋痛疾患における教育講演から線維筋痛症の原因解明の重要な手がかりが示唆されるなど、重要な情報が提供された。



西岡理事長

本学術集会での中心的なテーマとして、「**線維筋痛症を科学すること**」が上げられ、線維筋痛症を類似する関連疾患を含めたより大きな視点から議論することが企画された。

この点については、最先端の臨床画像解析や実験動物を用いた基礎研究が紹介された。

動物モデルを用いた研究から、いくつかの既存薬の繰り返し投与が線維筋痛症様疼痛病態を完全に寛解させるなど、新しい話題も紹介された。

さらに、診断の鍵となるバイオマーカー研究など最先端研究についてもシンポジウムで掘り下げて議論がなされ注目を集めた。また新しく「コメディカルの立場から」と題するシンポジウムが企画され、集学的治療の必要性が再確認された。



メイン会場フロア



懇親会

学術集会ののち、市民公開講座「線維筋痛症を学ぶ」が開催され、西岡理事長による基調講演ののち、「**Meet the experts**」と題して、10名近くの線維筋痛症専門医師をチューターとしたグループで合計100名近くの患者、医療関係者等との対話、質疑応答がなされた。

市民公開講座の終了後、多くの出席者が病気についての疑問の解消に役立てることができたとの評判を聞くことができた。

線維筋痛症研究会発足から今年で6年が経過したが、初期に比べ臨床におけるネットワークや医療体制が改善され、治療ガイドラインに沿った治療、基礎研究においても動物モデル開発や新たな創薬アプローチ実施、などに若手の諸先生が積極的にご活躍されていることが強く感じられ、線維筋痛症患者が適切に治療される時期が予想以上に早くくるのではないかと確信された学術集会であった。



ポスターフロア



メイン会場